

国際教養大学

JPS555 日本文学概論/ Overview of Japanese Literature

担当者 佐々木久春

授業の形式：講義（必要に応じて視聴覚教材を使う。）

授業時数と曜日時間 75分（1.5コマ）×30回（45時間）、
毎週 月曜と水曜の10:30～11:45） 合計15週

授業の概要：

日本文学は、どのようなものか、古典文学と近現代文学について見ていく。

I. 古典文学概論では、古代、中世、近世（江戸時代）の文学を日本の歴史・社会との関係を視野に入れながら考える。

II. 近代文学概論では、明治、大正、昭和の文学を、西洋からの影響と共に考える。

授業の目標：

- 1 原典を読み、日本語の表現を味わう。
- 2 作品の背景にあるそれぞれの時代の思想を知る。
- 3 日本人の考え方を理解する。

授業の計画：

I. 古典文学概論（第1回～第14回）

- | | | |
|-------|----------------------|-------|
| 1～2 | 文学の夜明け—古事記、万葉集 | (3コマ) |
| 3～4 | かな文字の世界—古今集、源氏物語、枕草子 | (同) |
| 5～6 | 戦記と舞歌—平家物語、謡曲・狂言 | (同) |
| 7～8 | 随筆—方丈記、徒然草 | (同) |
| 9～10 | 俳人たち—芭蕉、蕪村、一茶 | (同) |
| 11～12 | 江戸の小説—浮世草子、草双紙 | (同) |
| 13～14 | 演劇—浄瑠璃、歌舞伎 | (同) |

II. 近代文学概論（第15～第30回）

- | | | |
|-------|-----------------------|-----|
| 15～16 | 開国と文学—戯作、翻訳、政治小説 | (同) |
| 17～18 | 写実主義—坪内逍遙、二葉亭四迷 | (同) |
| 19～20 | 夢と現実—北村透谷、田山花袋、島崎藤村 | (同) |
| 21～22 | 西洋見聞—森鷗外、夏目漱石 | (同) |
| 23～24 | 個人重視—性善・志賀直哉、私小説・葛西善蔵 | (同) |
| 25～26 | エゴイズム—芥川龍之介 | (同) |
| 27～28 | 真実か美か—葉山嘉樹、川端康成 | (同) |
| 29～30 | 予備の時間 および 試験 | (同) |

合計45コマ

テキスト、参考書等、テキスト等は指示する。

評価：筆記試験による。